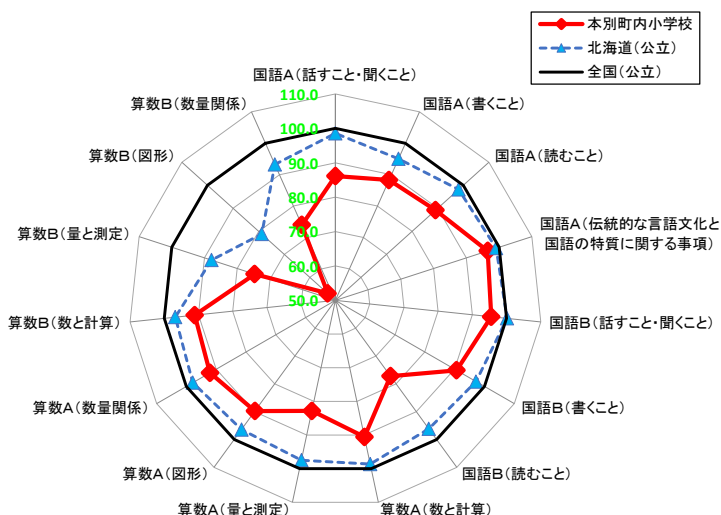


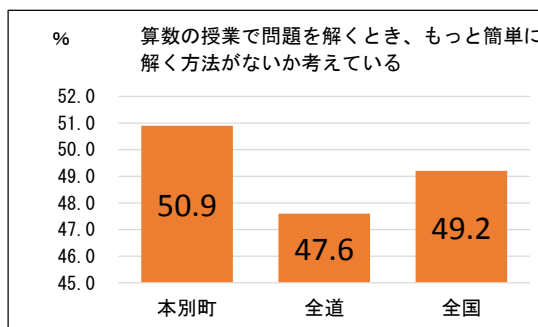
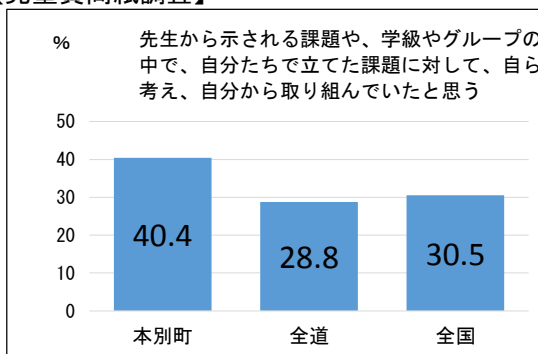
■本別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:57人)

【教科全体の状況】

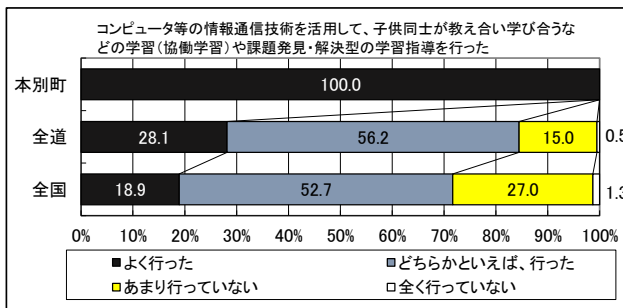
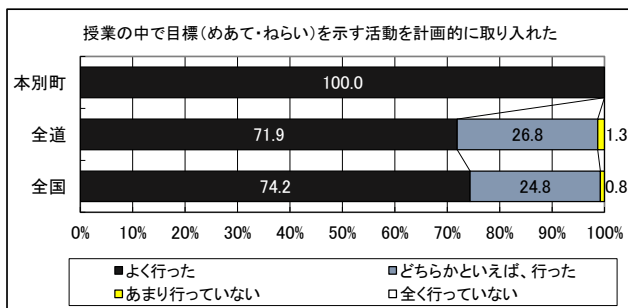
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道とほぼ同様であり、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全道に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」、Bでは、「数と計算」で全道に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた授業を行った結果、教師から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、取り組んでいたと回答した児童が増え、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」で全道に最も近づいたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、ICT機器を活用した分かる授業づくりの推進を行った結果、算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えていると回答した児童が増え、算数Aの「数量関係」、Bの「数と計算」で全道に最も近づいたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ すべての学校が、「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行った」と回答している。 	

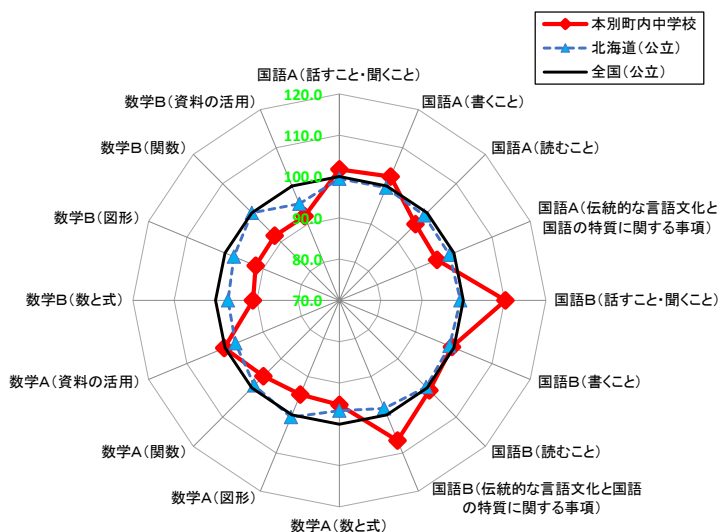
【本別町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査に基づいた検証改善サイクルの確立
- ◎ 町派遣教員の配置によるきめ細かな指導の充実
- ◎ 校種間連携の全町的な取組の推進
- ◎ ICT機器の設置等の教育環境の整備

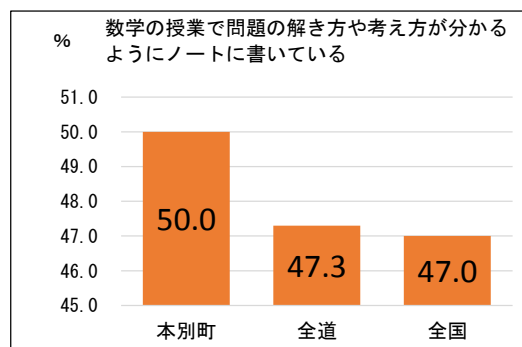
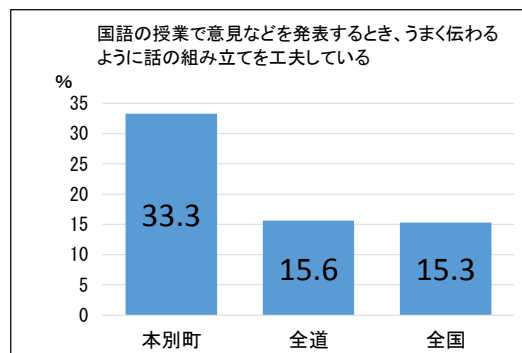
■本別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:43人)

【教科全体の状況】

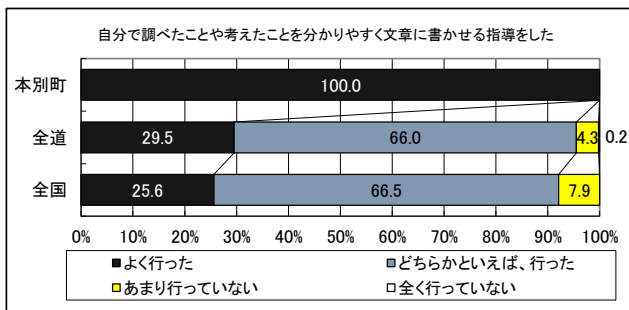
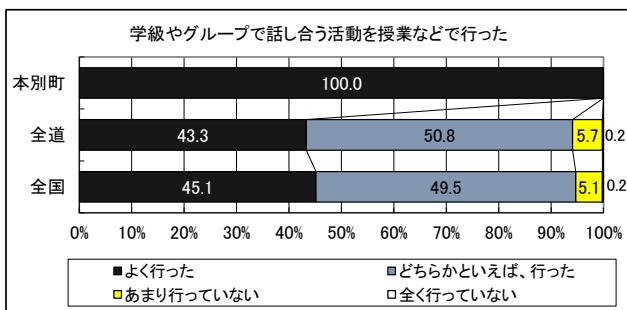
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行った結果、国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していると回答した生徒が増え、国語Bの「話すこと・聞くこと」などで全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をよく行った結果、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると回答した生徒が増え、数学A「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」と回答している。 ○ すべての学校が、「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした」と回答している。 	

【本別町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査に基づいた検証改善サイクルの確立
- ◎ 町派遣教員の配置によるきめ細かな指導の充実
- ◎ 校種間連携の全町的な取組の推進
- ◎ ICT機器の設置等の教育環境の整備